

北海道福祉サービス第三者評価結果公表事項

①第三者評価機関名

合同会社 m o c a l

②運営者(指定管理者)に係る情報

名称: 株式会社 ジョブロジック

代表者氏名: 代表取締役 原田 徳

所在地: 〒006-0802 札幌市手稲区新発寒2条3丁目1-5

TEL 011-215-4401

③事業所の基本調査内容

別紙「基本調査票」のとおり

④総評

◇特に評価の高い点

「電子媒体と紙媒体利用の高い情報活用のスキル」

法人主体でホームページによる情報発信として、事業所紹介から募集中の仕事、支援内容や流れを写真や図表、漫画描写の就職支援ストーリー等から働くイメージが膨らみやすく理解しやすい構成を検討して積極的な情報発信に努めている。また、紙媒体の記録の職員間の署名回覧の情報共有の仕組みと電子媒体によるネットワークの仕組みからの確かな事業所内の情報共有に取り組んでいる。

「施設外就労により、就労への自信や希望を見出すことができる環境」

利用者が「やりたい」と思う就労形態を目標設定し、個々の障害、病気、心身状況などを考慮しステップアップできるよう支援している。利用者が変化する状態においても就労への意欲や就労が継続できるように支援している。また、就労先企業と定期的に協議し利用者の困りごとについて伝え対応している。法人グループ内4事業所の就労体験を通じ自分にあった就労形態を選択できるシステムがある。利用者が就労に励んだ結果、就労先企業から一般就労として採用したい意向がでるなど高い評価を得ている。法人で就労トータルコーディネーターを配置し、施設外就労から一般就労への自信と意欲を持った利用者に対し一般就労に向けた準備から就労後までを一貫して支援している。

◇改善を求められる点

「事業所の置かれている状況に応じた中長期計画の策定」

法人全体としては、5ヵ年計画を策定しスケジュールや新事業の立ち上げ、就労トータルコーディネーター配置、人材育成強化期間の設定など具体的な事柄が掲げられている。しかし、事業所においてはその地域の実情や福祉ニーズ、対象利用者などの特性などの現状や将来推計などを分析し、今後の方向性の指標となる中長期の計画が立案されていない。今後は、法人全体の中期計画と連動させた上で、実行の裏付けとなる収支計画書の作成や見直し時期の設定などを行い、事業所独自の中期計画が策定されることが期待される。またその際には、職員や利用者などの参画により意見などが反映されることが期待される。

「サービスの質の向上に向けた機能する仕組みへの見直し」

苦情解決の仕組みとして「苦情処理規程」等を定めて、事務室内に苦情の申し出窓口の掲示等から利用者周知を行い、施設外就労支援先への移動中や就労中に対応への配慮に努め、相談や意見も含めて苦情等を受けた時は各種記録様式内に記録する取組を行っている。しかし、対応する仕組みに関わる規程等内に第三者委員の設置や公表の在り方までの仕組みが未整備であるため、福祉サービスの質の向上に向けた機能する仕組みとして再検討・再整備が望まれる。

「継続的な支援の質の向上への標準的な実施方法の見直し」

就労継続支援事業の事業所として組織的な福祉サービスの提供を行う時に職員誰もが行わなければならない基本的な共通部分の標準的な実施方法の文書が分散的なので、組織支援の仕組みとして、個別支援計画のつながりからPDCA的に統合した文書化による標準的な実施方法の確立・熟成を期待したい。一定の標準的な実施方法による対応と相補的に職員の個別的な支援の配慮の組み合わせによる福祉サービスの質の向上のために、支援内容の変化や新たな対応の導入事項を踏まえる目的で、定期的な標準的な実施方法の見直しの仕組みを確立して継続的な支援の質向上に取り組むことが期待される。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、客観的に評価を受ける事で法人や役職者だけではなく一般職員にとっても、より良いサービスへの見直しや質の向上を図る機会となった。
今後の取り組みとして、基本的な支援方針やサービスの実施などの明文化及び周知、職員間での共有を図れる仕組み作りの方向性が見えて来た。
当施設の持ち味である一般企業での施設外就労や一般就労への支援を軸に、利用者や地域のニーズの把握に努め、継続的にサービスの向上を図れる様に支援者のスキルアップも並行して充実化して行きたい。

⑥評価対象項目に対する評価結果及びコメント

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり